

岩手県社会福祉士会  
新入会員オリエンテーション 委員会説明資料

○委員会名

障がい委員会

○委員数（2024年度）

12名

○委員会の設置の意図、活動実績や経緯

委員会の活動としては、設置の主旨及び活動目標の『誰もが人間として尊重される、「共生社会」の実現を目指した、障がい福祉の向上に貢献することを目的に設置し、併せてこの目的を果たしていくための人材育成を図る活動を支援する』について、具体的な活動として明確に示していくことが重要と考え、各委員の所属所の役割等も含めた柔軟な視点での活動を行っています。

昨年度の活動の一例としては、2024年2月3日にフォーラム：『障がい者虐待と社会福祉士の役割を考える』（障がいフォーラム）を開催しました。これは、2021年度に実施した調査「障害者虐待と行動障害に対する社会福祉士の認識」を基として報告等まとめとしたものとなります。今後は、調査内容も含めて関係する委員会等とも連携して活用の方法を探っていくことも考えています。

また、今年度の活動としては、障がい者を取り巻く課題と障がい委員会の活動との関係性を基に、マクロ・メゾ・ミクロ等の視点等から地域ニーズや課題等を明確にししながら取り組む予定となっています。得られたテーマを基に新たなシンポジウム等の開催及び障がい者虐待調査についても検討していきたいと考えています。

そのため、適切な委員会開催を目指すとともに、関係委員会等との連携及び情報共有についても図るよう努めています。

○委員会活動計画（2024年度計画）

(1) 障がい委員会

ア 年3回程開催。

イ 開催方法 状況によりオンライン及びハイブリッド開催も検討。

(2) 研修会

ア 年1回程開催。

イ 開催方法 障がい委員会との同時開催。委員以外会員等の受講も検討。

(3) 調査

ア 2021年度実施調査「障害者虐待と行動障害に対する社会福祉士の認識」について、障がいフォーラムで得られた内容も加えながら他委員会等々の連携及び引き続いての調査について検討していく。

イ 障がい者を取り巻く課題と障がい委員会の活動との関係性を基にしたマクロ・メゾ・マクロ等の視点等からテーマを明確にするとともに、導き出された地域の課題やニーズを分析し、今後のシンポジウム等へのあり方も検討していく。